

福祉コミュニティ学科

(社会福祉・地域づくり)

複雑な現代社会において、新たな課題・問題は次々と生まれます。

福祉コミュニティ学科では、社会福祉・地域づくりを中心に
これから時代に必要な問題解決力・実践力を育みます。

多様で複雑な社会の課題に対して、地域づくりと社会福祉の観点から課題解決の道を導き出す能力を培う実践的なカリキュラムを用意しています。1年次のフィールドスタディ入門では、現場で活躍する専門家の声を聞き、2年次以降より実践的で専門性の高い科目群へと導いていきます。さらに3年次からは多彩な実習プログラムを用意し、自らの関心に基づいて選択できるようにしています。相互に連携し合う地域づくりと社会福祉を、融合的に学ぶことができる科目も充実しており、卒業後に幅広い分野での活躍が期待できます。



《カリキュラム》

演習・実習	
●専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (卒業論文)	●コミュニケーション実習・実習指導・演習
●精神保健ソーシャルワーク実習・実習指導・演習	●ソーシャルワーク実習・実習指導・演習
●スクールソーシャルワーク実習・実習指導・演習	●英語専門演習Ⅰ・Ⅱ
	●認定課外実習
専門展開科目	
ソーシャルポリシー分野	●社会福祉原理 ●雇用政策論 ●都市住宅政策論 ●保健医療サービス ●地域文化政策論 ●社会保障論 ●公的扶助論
コミュニケーションマネジメント分野	●政策評議論 ●地方財政論 ●福祉の思想と歴史 ●環境政策論 ●福祉行政と福祉計画 ●地方自治論
ヒューマンサポート分野	●地域経営論 ●ソーシャルイノベーション論 ●ソーシャルマネジメント論 ●ソーシャルファイナンス論 ●NPO論 ●協同組合論
	●福祉サービスの組織と経営 ●居住福祉論 ●災害支援論 ●人権活動論 ●都市とコミュニティ ●農山村とコミュニティ ●住民参加の手法
●高齢者福祉論 ●障害者福祉論 ●児童福祉論 ●女性福祉論 ●セルフヘルプグループ ●老いの文化と福祉 ●スクールソーシャルワーク	●コミュニケーションソーシャルワーク ●多文化ソーシャルワーク ●死生観とソーシャルワーク ●精神保健ソーシャルワークⅠ・Ⅱ ●芸術療法 ●精神科リハビリテーション学 ●介護福祉論 ●家族福祉論 ●若者支援論
●地域福祉論 ●社会的包摶論 ●地域計画論 ●コミュニケーションビジネス論 ●ボランタリーアクション ●ソーシャルワークⅡ(理論) ●ソーシャルワークⅢ(方法) ●ケアマネジメント論 ●カウンセリング	●教育心理学 ●障害者心理学 ●死生観とソーシャルワーク ●コミュニケーションソーシャルワーク ●多文化ソーシャルワーク ●死生観とソーシャルワーク ●精神保健ソーシャルワークⅠ ●セルフヘルプグループ ●スクールソーシャルワーク ●精神科リハビリテーション学 ●介護福祉論 ●家族心理学 ●高齢者心理学 ●異文化心理学
●福祉国家論 ●地域福祉論 ●社会的包摶論 ●地域計画論 ●コミュニケーションビジネス論 ●ボランタリーアクション ●ソーシャルワークⅡ(理論) ●ソーシャルワークⅢ(方法) ●ケアマネジメント論 ●カウンセリング	●権利擁護と成年後見 ●発達心理学 ●家族心理学 ●学校心理学 ●高齢者心理学 ●異文化心理学
●地域問題入門 ●まちづくりの思想 ●地域の歴史と文化 ●社会問題論 ●社会福祉概論 ●ソーシャルワークⅠ(相談援助の基盤と専門職)	
●基礎演習Ⅰ・Ⅱ ●フィールドスタディ入門 ●キャリアデザイン論 ●多摩地域形成論	
視野形成科目	
【人文系】 ●文学 ●創作表現論 ●文化人類学 ●哲学Ⅰ・Ⅱ ●日本人の心理特性と文化 ●環境倫理 ●生命倫理 ●ホスピタリティ論 ●心理学 ●教育学 ●生涯学習論Ⅰ・Ⅱ	●創作表現論 ●文化人類学 ●哲学Ⅰ・Ⅱ ●日本人の心理特性と文化 ●環境倫理 ●生命倫理 ●社会福祉概論 ●地域福祉論 ●まちづくりの思想 ●ボランタリーアクション ●法學 ●日本国憲法
【社会系】 ●法学 ●日本国憲法 ●民法Ⅰ・Ⅱ ●行政法Ⅰ・Ⅱ ●政治学 ●経営学 ●経済学 ●財政学Ⅰ・Ⅱ ●社会学 ●社会学特講 ●社会学理論 ●社会思想史 ●社会システム論 ●コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ ●老年学 ●職業社会論 ●企業と労働 ●現代福祉特講 ●女性学	●民法Ⅰ・Ⅱ ●行政法Ⅰ・Ⅱ ●政治学 ●経営学 ●経済学 ●財政学Ⅰ・Ⅱ ●社会学 ●社会学特講 ●社会思想史 ●社会システム論 ●コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ ●老年学 ●職業社会論 ●企業と労働 ●現代福祉特講 ●女性学
【自然・スポーツ系】 ●医学概論 ●リハビリテーション概論 ●生命的科学Ⅰ・Ⅱ ●自然環境論Ⅰ・Ⅱ ●基礎数学Ⅰ・Ⅱ ●スポーツ総合 ●スポーツ種目Ⅰ・Ⅱ ●ヘルスプロモーション	●医学概論 ●リハビリテーション概論 ●生命的科学Ⅰ・Ⅱ ●自然環境論Ⅰ・Ⅱ ●基礎数学Ⅰ・Ⅱ ●ヘルスプロモーション ●スポーツ総合 ●スポーツ種目Ⅰ・Ⅱ
●コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ ●データの収集と分析Ⅰ・Ⅱ ●WEBデザイン ●社会調査法Ⅰ・Ⅱ ●統計学 ●社会福祉調査	
●英語1~5 ●英語6~10 ●中国語1A・1B・2A・2B ●中国語3A・3B~5A・5B ●日本語1A・1B~3A・3B(留学生のみ) ●国際コミュニケーション(英語1A・1B~3A・3B) ●国際コミュニケーション(中国語1A・1B~3A・3B) ●インテンシヴ・イングリッシュ1~4 ●インテンシヴ・イングリッシュ5~8	

※各科目には、履修可能年次が別途定められています。 ※カリキュラム表および科目名は変更になる場合があります。

《福祉コミュニティ学科で取得可能な資格》

資格課程	任用資格	教職課程
○社会福祉士(国家試験受験資格)	○社会教育主事	○中学校教諭一種(社会)
○精神保健福祉士(国家試験受験資格)	○社会福祉主事	○高等学校教諭一種(福祉)
○スクール(学校)ソーシャルワーク(協会認定)		○学校図書館司書教諭
○図書館司書		
○博物館学芸員		

臨床心理学科

(臨床心理)

人間の「こころ」はさまざまな側面をもっています。

そして「こころ」のありようは、私たちの生活に密接に関与しています。

臨床心理学科では、個人・家族・コミュニティに関わる心理学について体系的に学んでいきます。

心理学および臨床心理学・精神医学を専門としたスタッフによる質の高いカリキュラムを特徴としています。1年次から心理学の専門基礎科目を履修し、3年次の臨床心理実習では公的機関や病院などへの見学・実習を通して心理臨床を実践的に学びます。また研修制度を活用して、いくつかの心理療法を体験的に学ぶことができます。臨床心理士を養成する「第1種指定大学院」と密接に連携した教育環境も本学科の大きな特徴のひとつです。

《カリキュラム》

演習・実習	
●専門演習Ⅰ	●専門演習Ⅱ
●英語専門演習Ⅰ	●専門演習Ⅲ
●認定課外実習	●卒業論文
	●臨床心理実習
	●臨床心理実習指導
専門展開科目	
臨床心理分野	●臨床心理学Ⅱ ●コミュニケーション心理学Ⅱ ●精神分析学 ●心理療法Ⅱ
教育・社会心理分野	●児童精神医学 ●認知行動療法 ●心理検査法Ⅱ ●投影法特論
認知・学習心理分野	●教育心理学 ●学校心理学
精神保健・福祉分野	●社会心理学Ⅰ ●社会心理学Ⅱ
	●人格心理学 ●グループアプローチ ●家族心理学 ●芸術療法
【必修科目】	●社会心理学Ⅰ
【選択必修科目】	●社会心理学Ⅱ
●心理学	●発達心理学
●心理学概論	●臨床心理学Ⅰ
	●心理療法Ⅰ
	●心理検査法Ⅰ
●心理学基礎実験Ⅰ	●認知心理学Ⅰ
●心理学基礎実験Ⅱ	●学习心理学
●基础演習Ⅰ・Ⅱ	●ソーシャルワークⅡ
●フィールドスタディ入門	●精神保健学
●キャリアデザイン論	●若者支援論
●多摩地域形成論	●女性福祉論
	●死生観とソーシャルワーク
●基礎演習Ⅰ・Ⅱ	●ソーシャルワークⅢ
●フィールドスタディ入門	●精神保健ソーシャルワークⅠ
●キャリアデザイン論	●児童福祉論
●多摩地域形成論	●家族福祉論
	●高齢者福祉論
	●障害者福祉論
●心理学選択必修	●セルフヘルプグループ
●心理学基礎実験Ⅰ	●精神保健ソーシャルワークⅡ
●心理学基礎実験Ⅱ	●精神保健ソーシャルワークⅢ
●基礎演習Ⅰ・Ⅱ	●精神保健ソーシャルワークⅣ
●フィールドスタディ入門	●精神保健ソーシャルワークⅤ
●キャリアデザイン論	●精神保健ソーシャルワークⅥ
●多摩地域形成論	●精神保健ソーシャルワークⅦ
専門基礎科目	
8科目選択必修(うち、4科目必修)	
●心理学	●心理学概論
●心理学基礎実験Ⅰ	●心理学基礎実験Ⅱ
学部共通科目	
●基礎演習Ⅰ・Ⅱ	●フィールドスタディ入門
●キャリアデザイン論	●キャリアデザイン論
●多摩地域形成論	●多摩地域形成論
視野形成科目	
【人文系】 ●文学 ●創作表現論 ●文化人類学 ●哲学Ⅰ・Ⅱ ●日本人の心理特性と文化 ●環境倫理 ●生命倫理 ●ホスピタリティ論 ●心理学 ●教育学 ●生涯学習論Ⅰ・Ⅱ	●創作表現論 ●文化人類学 ●哲学Ⅰ・Ⅱ ●日本人の心理特性と文化 ●環境倫理 ●生命倫理 ●社会心理学 ●地域福祉論 ●まちづくりの思想 ●ボランタリーアクション ●法學 ●日本国憲法
【社会系】 ●法学 ●日本国憲法 ●民法Ⅰ・Ⅱ ●行政法Ⅰ・Ⅱ ●政治学 ●経営学 ●経済学 ●財政学Ⅰ・Ⅱ ●社会学 ●社会学特講 ●社会学理論 ●社会思想史 ●社会システム論 ●コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ ●老年学 ●職業社会論 ●企業と労働 ●現代福祉特講 ●女性学	●民法Ⅰ・Ⅱ ●行政法Ⅰ・Ⅱ ●政治学 ●経営学 ●経済学 ●財政学Ⅰ・Ⅱ ●社会学 ●社会学特講 ●社会思想史 ●社会システム論 ●コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ ●老年学 ●職業社会論 ●企業と労働 ●現代福祉特講 ●女性学
【自然・スポーツ系】 ●医学概論 ●リハビリテーション概論 ●生命的科学Ⅰ・Ⅱ ●自然環境論Ⅰ・Ⅱ ●基礎数学Ⅰ・Ⅱ ●スポーツ総合 ●スポーツ種目Ⅰ・Ⅱ ●ヘルスプロモーション	●医学概論 ●リハビリテーション概論 ●生命的科学Ⅰ・Ⅱ ●自然環境論Ⅰ・Ⅱ ●基礎数学Ⅰ・Ⅱ ●ヘルスプロモーション ●スポーツ総合 ●スポーツ種目Ⅰ・Ⅱ
●コンピュータ入門Ⅰ・Ⅱ	●コンピュータ入門Ⅰ
●データの収集と分析Ⅰ・Ⅱ	●コンピュータ入門Ⅱ
●WEBデザイン	●心理データ解析Ⅰ
●社会調査法Ⅰ・Ⅱ	●心理データ解析Ⅱ
●統計学	●WEBデザイン
●社会福祉調査	
情報・調査系科目	
●英語1~5 ●英語6~10 ●中国語1A・1B・2A・2B ●中国語3A・3B~5A・5B ●日本語1A・1B~3A・3B(留学生のみ)	●英語1~5 ●英語6~10 ●中国語1A・1B・2A・2B ●中国語3A・3B~5A・5B ●日本語1A・1B~3A・3B(留学生のみ)
●国際コミュニケーション(英語1A・1B~3A・3B) ●国際コミュニケーション(中国語1A・1B~3A・3B)	●国際コミュニケーション(英語1A・1B~3A・3B) ●国際コミュニケーション(中国語1A・1B~3A・3B)
●インテンシヴ・イングリッシュ1~4 ●インテンシヴ・イングリッシュ5~8	●インテンシヴ・イングリッシュ1~4 ●インテンシヴ・イングリッシュ5~8
言語コミュニケーション科目	
●英語1~5 ●英語6~10 ●中国語1A・1B・2A・2B ●中国語3A・3B~5A・5B ●日本語1A・1B~3A・3B(留学生のみ)	●英語1~5 ●英語6~10 ●中国語1A・1B・2A・2B ●中国語3A・3B~5A・5B ●日本語1A・1B~3A・3B(留学生のみ)
●国際コミュニケーション(英語1A・1B~3A・3B) ●国際コミュニケーション(中国語1A・1B~3A・3B)	●国際コミュニケーション(英語1A・1B~3A・3B) ●国際コミュニケーション(中国語1A・1B~3A・3B)
●インテンシヴ・イングリッシュ1~4 ●インテンシヴ・イングリッシュ5~8	●インテンシヴ・イングリッシュ1~4 ●インテンシヴ・イングリッシュ5~8

※各科目には、履修可能年次が別途定められています。 ※カリキュラム表および科目名は変更になる場合があります。

《臨床心理学科で取得可能な資格》

資格課程	任用資格	教職課程
○認定心理士(学会認定資格)	○社会教育主事	○中学校教諭一種(社会)
○図書館司書	○社会福祉主事	○高等学校教諭一種(福祉)
○博物館学芸員		○学校図書館司書教諭

